

自作の網織機を手にした晩年の松森胤保(左)と胤保が子どものために考えた自転車(上) / 個人提供

酒田市立資料館 第197回企画展

庄内の発明家

平成28年

6月11日(土)～8月22日(月)

- 開館時間 午前9時～午後4時30分(展示期間中無休)
- 入館料 一般100円、小学生～大学生50円

※土曜・日曜は、小中学生入館無料です!!

酒田市立資料館

SAKATA CITY MUSEUM

〒998-0046 山形県酒田市一番町8番16号

TEL/FAX: 0234-24-6544

E-mail: sakata-city-museum@city.sakata.yamagata.jp



酒田市名誉市民・中村恒也氏。左は中村氏が設計した、日本で最初の純国産・高精度な機械式腕時計「マーベル」/セイコーエプソン(株)提供

庄内の発明家

私たちの生活を支えている画期的な技術と、その技術を形にした多くの機械・器具。それは、卓越した発想力を持った「発明家」と称される人たちの努力によってつくり出されてきました。

庄内からも、さまざまな分野で活躍した発明家を輩出しています。全国あるいは世界規模で社会に貢献した人、地域の農業振興に尽くした人。活躍の場はそれぞれですが、産業の発展を目指し、人々の生活をより豊かなものにしたいという情熱は同じです。

今回の展示では、松山藩付家老として藩政を担いながら、幕末・明治の科学者として多くの著作を残した松森胤保から、腕時計の世界に改革をもたらした中村恒也氏（酒田市名誉市民、セイコーエプソン(株)名誉相談役）まで、酒田を中心とした庄内の発明家を紹介します。

展示で紹介する発明家

●松森 胤保（まつもり たねやす）

文政8年（1825）、鶴岡生まれ。武士、政治家として地域行政に尽くしながら、自然科学・工学などの著書を多数書き残した。明治25年（1892）没。

●齋藤 外市（さいとう といち）

慶応元年（1865）、長沼村（旧藤島町）生まれ。電動織機を発明し全国に普及させる。飛行機、水雷艇などの発明にも取り組んだ。大正15年（1926）没。

●久村 清太（くむら せいた）

明治13年（1880）、酒田生まれ。日本で初めて人絹（レーヨン）の製造技術を確立。「日本化学繊維工業の父」と呼ばれる。昭和26年（1951）没。

●佐藤 岩太郎（さとう いわたろう）

明治22年（1889）、内郷村（旧松山町）生まれ。馬耕犁などの農機具の開発・改良に尽力した。昭和15年（1940）没。

●石井 梅蔵（いしい うめぞう）

明治29年（1896）、酒田生まれ。世界初のバインダーなどの農機具を開発。酒田発明協会会長などを務めた。昭和51年（1976）没。

●齋藤 長一（さいとう ちょういち）

明治31年（1898）、酒田生まれ。自動脱穀機などの農機具を開発。暗渠排水管などの研究にも取り組んだ。昭和58年（1983）没。

●中村 恒也氏（なかむら つねや）

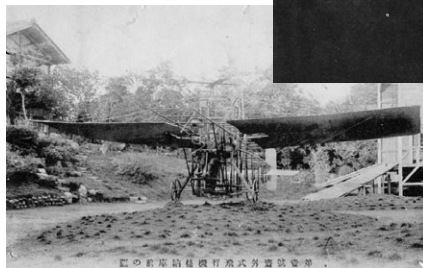
大正12年（1923）、酒田生まれ。日本初の純国産・高精度の機械式腕時計を設計し、開発リーダーとして世界で初めてクォーツ腕時計の商品化を実現。平成15年、酒田市名誉市民となった。現在もセイコーエプソン(株)名誉相談役を務めている。

資料協力

秋山周三氏、阿部順吉氏、板垣又七氏、齋藤衛氏、杉原幹子氏、松森昌保氏、(株)石井製作所、鈴木商店記念館、セイコーエプソン(株)、セイコーミュージアム、(公財) 帝人奨学会、(株)日和農機、酒田市総務課、酒田市教育委員会学校教育課、酒田市立光丘文庫



齋藤外市(上)と、外市が考案した飛行機(左) / 個人提供



久村清太 / (公財) 帝人奨学会提供

資料館調査員による展示解説

日時 / 6月25日(土)
午前10時～(1時間程度)
会場 / 酒田市立資料館 1階企画展示室
料金 / 無料(入館料別途必要)
定員 / 20人程度
申込み / 6月11日より。駐車場に限りがございますので、申し込み時にお問い合わせ下さい。

問 TEL 0234-24-6544

小学生を対象にしたイベントも予定しています。詳しくは資料館のホームページをご覧になるか、電話でお問い合わせ下さい。

次回企画展予告

「豊かな海づくり大会」開催記念展(仮)

平成28年8月27日(土)～10月24日(月)